

事業費

		23年度決算	24年度決算	25年度予算	25年度決算	26年度予算
事業費(A)		9,510	9,246	9,275	10,611	9,984
特定財源	国・道	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他	106	74	110	100	117
一般財源		9,404	9,172	9,165	10,511	9,867
人工		4.5	3.8	3.8	3.8	3.8
人件費(B)		34,200	28,120	27,740	27,740	26,980
計(A+B)		43,710	37,366	37,015	38,351	36,964

事業費の内訳	[平成25年度決算:10,611千円] 事前協議・周知・指導4,452千円、普及啓発活動4,483千円、事務費1,676千円 単位あたりコスト:平成25年度決算10,611千円/48,516人 = 218.7円
	[平成26年度予算:9,984千円] 事前協議・周知・指導4,571千円、普及啓発活動3,778千円、事務費1,635千円

指標

指標1	指標名	事前協議書及び文化財保護法に基づく通知・届出件数				
	設定理由と結果分析	埋蔵文化財保護の拡充を表す指標であるため。 (開発事業者からの届出によるものなので、目標値は設定しない。)				
	目標・実績	22年度実績 175	23年度実績 197	24年度実績 176	25年度目標	25年度実績 195
指標2	指標名	埋蔵文化財センター展示室入場者数				
	設定理由と結果分析	埋蔵文化財保護思想の高まりを表す指標であるため。(単位:人) 平成25年度の入場者数の減少は、展示室更新に伴う2カ月間の閉鎖(平成26年2~3月)の影響。				
	目標・実績	22年度実績 57,807	23年度実績 58,574	24年度実績 53,845	25年度目標 59,000	25年度実績 48,516
指標3	指標名					
	設定理由と結果分析					
	目標・実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度目標	25年度実績
指標4	指標名					
	設定理由と結果分析					
	目標・実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度目標	25年度実績
指標5	指標名					
	設定理由と結果分析					
	目標・実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度目標	25年度実績

市民自治の 観点からの 評価	・埋蔵文化財包蔵地、一覧表等の埋蔵文化財情報は、ホームページで公開し情報共有化を図っている。 ・展示室の公開、市民参加の体験学習・出前講座の実施、ホームページによる情報発信を積極的に推進している。
事業の 検証	事業成果 ・事前協議・周知・指導では、札幌市埋蔵文化財センターのホームページの分布図を更新した。さらに、札幌市埋蔵文化財地理情報データを拡充し、より正確な情報を迅速に提供した。 ・普及・啓発活動では、ホームページ等を活用するとともに、埋蔵文化財展示室の更新に伴い、市内の遺跡等に関する情報を来館者が閲覧できる埋蔵文化財情報閲覧システムを構築し、市民により多くの情報を発信し、埋蔵文化財保護思想の普及に努めた。
	事業水準 の妥当性 ・事務費について、より効率的な事務執行をすることにより、経費の削減に努めた。
	事業手法 の適切性 ・事前協議・周知・指導では、事前に事業照会等を行うことにより、実施の効率化を図っている。 ・普及啓発活動では、ホームページ等を充実させ、より多くの情報を発信し、市民の利用促進を図っている。
	選択項目 による検証 [事業の必要性] ・周知の埋蔵文化財包蔵地や隣接地等で開発事業を行う場合は、埋蔵文化財の保護と開発事業の円滑な推進を図るために、事業者と事前に協議を行い、現状保存や記録保存(発掘調査・工事立会等)の取扱いについて指導を行う必要がある。また、埋蔵文化財の重要性を理解してもらうためには、積極的に普及啓発事業を行う必要がある。
	課題 ・埋蔵文化財保護の取扱いの定着に伴い、事前協議書の提出及び文化財保護法に基づく通知・届出に対して迅速且つ適切に対応できるよう体制の充実を図る必要がある。 ・普及啓発関係については、学校教育・社会教育面からの団体利用の要望が多様化しており、より充実した対応をしていく必要がある。
今年度予算で の見直し内容	特になし。

自己評価		A	B	C	D	評価省略対象事業
		・今後も埋蔵文化財包蔵地分布図の逐次更新や公開、札幌市埋蔵文化財地理情報システムの充実に努め、より正確な情報を提供し、事前協議の効率化を図る。さらにインターネットでの情報提供の拡充を進める。 ・インターネット等や遺跡見学会・出前講座を通じて、多くの情報を発信し、埋蔵文化財保護思想の普及啓発に努める。				
次年度予算に向けて	どのような取組にするか(方向性)	拡充	現状維持	縮小	休止・廃止	その他
	改善内容	・普及啓発活動において、更新した展示室を活用し、埋蔵文化財保護思想の普及啓発の拡充を図る。 ・業務効率化等により、費用対効果を高めていく。				
これまで取り組んできた改善・見直しの内容 特になし						

【全庁的な視点による検討課題の提起・外部評価からの指摘】

【上記指摘に対する改善・見直しの検討結果】